

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 安寿作成日: 平成 30 年 8 月 3 日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を活かした取り組み	参加委員が固定化し、意見や要望、質問等を提案する委員も決まっています、内容が画一化傾向にあるので、会議の内容や議題、運営の在り方を検討し、参加委員を増員して、地域の社会貢献にも取り組んでいく。	複数の民生委員、歯科医師、公民館館長、元家族、有識者や知見者、他グループホームの管理者等に参加を要請し、外部の目を通して意見や情報を話し合い、参加する事で知識や情報を得られる有意義な会議として、参加したくなる会議を目指していく。	12ヶ月
2	37	災害対策	2階建ての2階部分の利用者(9名)が、夜間の非常時に夜勤者1名で利用者全員を安全な避難場所に、短時間で避難誘導出来る体制を整え、夜勤者が安心して自信を持って夜勤出来る取り組みを目指していく。	非常災害に備えて、地域住民との協力体制を確保し、併設グループホームの職員や非番の職員が駆けつけられる体制と、常に職員間で非常時の誘導体制をマニュアル化して、夜勤の職員が冷静に素早く対応できる体制の確立を目指していく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。